



2026年3月期 決算説明会

2026年6月9日（火）

株式会社フライングガーデン

代表取締役社長 野沢 卓史

証券コード：3317



INDEX 目次



01.	会社紹介	p2
02.	2026年3月期決算概要	p7
03.	2027年3月期業績予想	p18
04.	今後の展開	p25
	Appendix	p28



01.

Company introduction

会社紹介

爆弾ハンバーグをメインとした
郊外型レストラン「**フライングガーデン**」等を
北関東を中心に、直営で多店舗展開

会社概要

社名	株式会社フライングガーデン FLYING GARDEN CO., LTD.
設立	1981年12月4日
代表者	代表取締役社長 野沢 卓史
事業内容	郊外型レストランチェーンの経営
売上高	92億円
店舗数	59店（2026年3月末現在）
従業員数	173名（臨時雇用者数（外数）649名）
HP	https://www.fgarden.co.jp/

私達は人類の幸せを向上させるために、
思いやりの心を持つ優秀な人財を
採用育成し、社員の幸せと、
お客様満足度日本一の企業を
目指し、適正利潤を確保し、
社会貢献致します。



- **1976年 11月** ● 群馬県桐生市末広町に現代表取締役会長野沢八千万が、ピザ・クレープの店「ノザワ」を個人にて創業する
- **1981年 12月** ● 資本金5,000千円にて株式会社ノザワハッピーフーズ事業本部を群馬県桐生市末広町に設立する
- **1983年 7月** ● ノザワハッピーフーズ株式会社に商号変更する
- **1984年 8月** ● 群馬県に郊外型レストラン1号店としてフライングガーデン「新桐生店」を群馬県桐生市に開店する
- **1985年 12月** ● 本社を群馬県桐生市巴町に移転する
- **1986年 4月** ● 栃木県に初の店舗として、「足利店」を栃木県足利市に開店する
- **1996年 11月** ● 株式会社フライングガーデンと商号変更する
- **1999年 4月** ● 茨城県に初の店舗として、「結城店」を茨城県結城市に開店する
- **7月** ● 栃木県小山市に営業本部を開設する
- **2000年 4月** ● 埼玉県に初の店舗として、「深谷店」を埼玉県深谷市に開店する（2018年4月 閉店）
- **2001年 4月** ● 人材開発と教育の強化を目的に、栃木県小山市にトレーニングキッチンを開設する
- **2002年 7月** ● 本社を栃木県小山市に移転する

- **2004年 3月** ● 日本証券業協会に株式を店頭登録する(株式公開)
- **6月** ● 千葉県に初の店舗として、「千葉ニュータウン店」を千葉県印西市に開店する
- **12月** ● 日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場する
- **2012年 8月** ● 栃木工場 竣工
- **2013年 2月** ● 自社生産の爆弾ハンバーグの全店販売を開始する
- **2020年 12月** ● 群馬県桐生市にお持ち帰り専門店「フラガ☆デリカ桐生巴町店」を開店する
- **2021年 6月** ● 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行する
- **2022年 4月** ● 東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、「スタンダード市場」へ移行する
- **2026年 11月** ● **創業50周年を迎える**



顧客に支持される主力商品を持っていることと
ホスピタリティを原点としたサービス品質の高さ

01

他社では提供しづらい
爆弾ハンバーグを
リーズナブルな価格で提供

02

爆弾ハンバーグを
中心とした商品構成で
オペレーション効率が向上

03

「食の安全・安心」に対する
徹底した対応

04

質の高い人財による
ホスピタリティサービス



02.

Financial result

2026年3月期決算概要

業績は好調に推移し、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益すべてで過去最高を達成

売上高

9,200百万円

前期比 + 11.3%

営業利益

599百万円

前期比 + 7.3%

経常利益

633百万円

前期比 + 7.5%

当期純利益

454百万円

前期比 + 29.1%

既存店の売上高

前期比

107.8%

原価率

34.6%

前期比 + 2.2%

店舗数

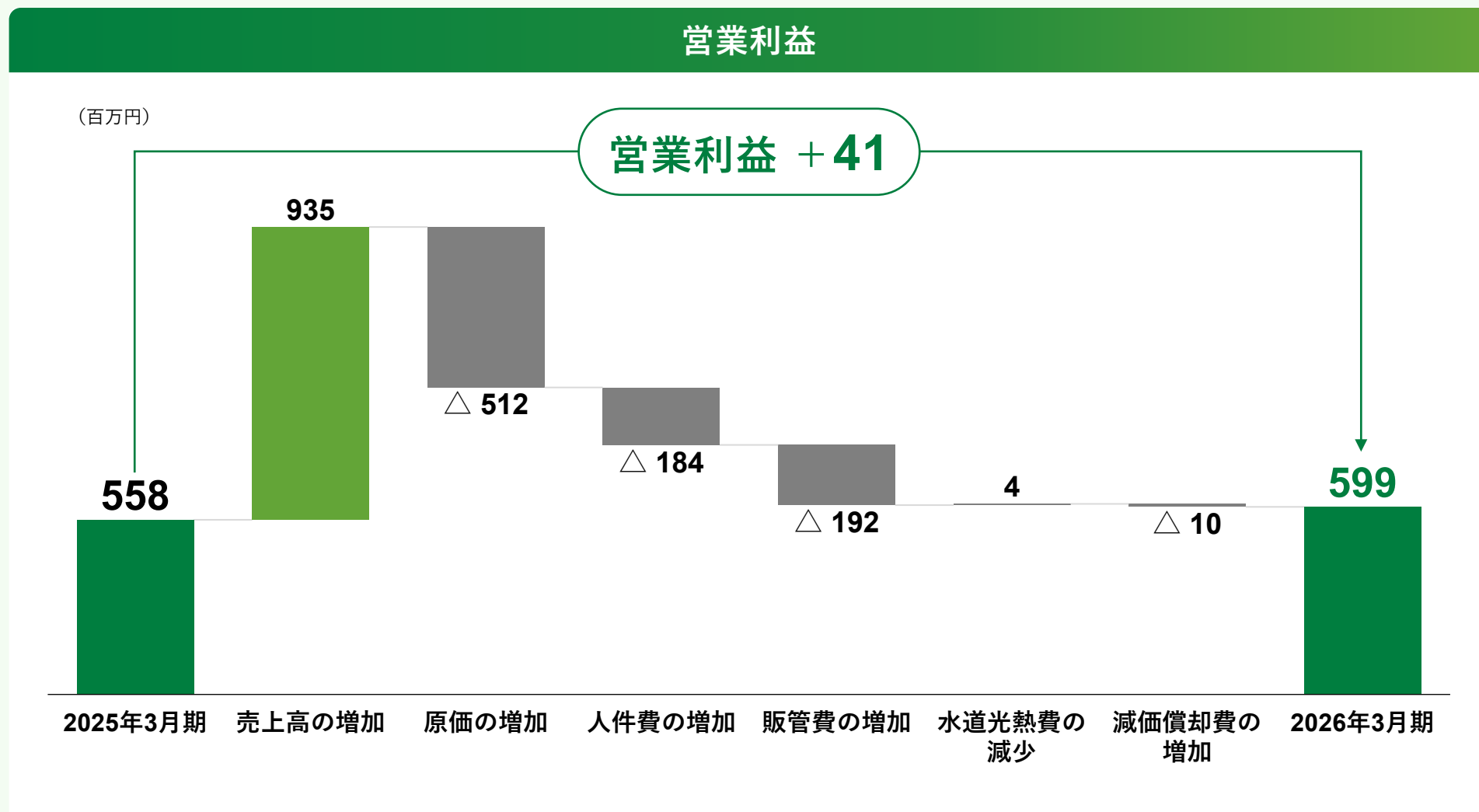
59店前期比 ± 0店
(出店1、退店1)

- 爆弾ハンバーグを中心とした販売促進が奏功し、来客数、売上高ともに堅調に推移。
- 売上高の増加により、原価率、販管費の上昇があったものの増収増益を達成。
- 前橋川原店開店（5月）川越埼玉医大前店閉店（3月）により期末店舗数は増減なし。

(単位：百万円)

	2025年 3月期	2026年3月期					
		業績予想	実績	前期比		予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	8,265	9,000	9,200	935	11.3	200	2.2
売上総利益	5,591	6,000	6,013	422	7.5	13	0.2
営業利益	558	540	599	41	7.3	59	11.0
経常利益	589	560	633	44	7.5	73	13.1
当期純利益	352	330	454	102	29.1	124	37.8

売上高の増加により、経費の上昇をカバーし前年同期比41百万円増加



貸借対照表分析

	2025年3月 前期末	2026年3月 当期末	増減額	主な増減要因
(単位：百万円)				
流動資産	1,927	2,154	227	現金及び預金183百万円増加
固定資産	2,886	3,251	365	
有形固定資産	1,921	2,202	281	新店、移転新築等による増加、 減損損失9百万円計上
無形固定資産	170	160	△10	
投資その他の資産	793	888	95	
資産合計	4,813	5,405	592	
流動負債	959	1,150	191	
固定負債	594	585	△9	
負債合計	1,554	1,735	181	
株主資本	3,259	3,670	411	当期純利益454百万円計上 配当金支払△43百万円計上
純資産合計	3,259	3,670	411	
負債純資産合計	4,813	5,405	592	

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	主な増減要因
(単位：百万円)				
営業活動による キャッシュ・フロー	681	724	43	税引前当期純利益617百万円 (62百万円増加)
投資活動による キャッシュ・フロー	△806	△588	218	有形固定資産の取得による 支出433百万円 (234百万円減少)
財務活動による キャッシュ・フロー	△43	△43	△0	配当金の支払額43百万円
現金及び現金同等物の 増加額 (△は減少)	△168	92	260	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,364	1,195	△168	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,195	1,288	92	
フリー・ キャッシュ・フロー	△125	135	260	

	2025年3月期			2026年3月期			
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	店舗数 (店)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)	店舗数 (店)
埼玉県	2,444	29.6	17	2,716	29.5	111.1	16
栃木県	2,295	27.8	16	2,545	27.7	110.9	16
群馬県	1,491	18.0	11	1,719	18.7	115.3	12
茨城県	1,417	17.1	11	1,545	16.8	109.1	11
千葉県	617	7.5	4	673	7.3	109.1	4
合計	8,265	100.0	59	9,200	100.0	111.3	59

※ 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

商品別売上高構成比

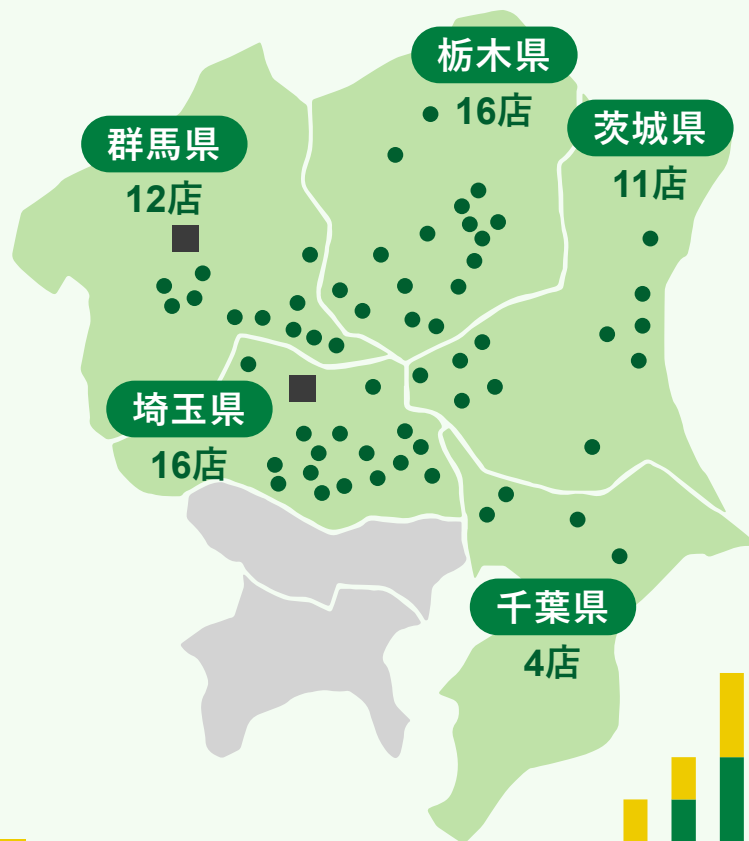
	2025年3月期		2026年3月期		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	8,265	100.0	9,200	100.0	111.3
爆弾ハンバーグ	4,067	49.2 ^{※2}	4,447	48.3^{※2}	109.3
ハンバーグ	912	11.1	862	9.4	94.5
チキン	643	7.8	691	7.5	107.4
サラダ	183	2.2	200	2.2	108.8
その他	2,457	29.7	2,998	32.6	122.0

※1 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

※2 爆弾ハンバーグの売上高構成比と注文率は異なります。(注文率は現在55%前後で推移しております。)

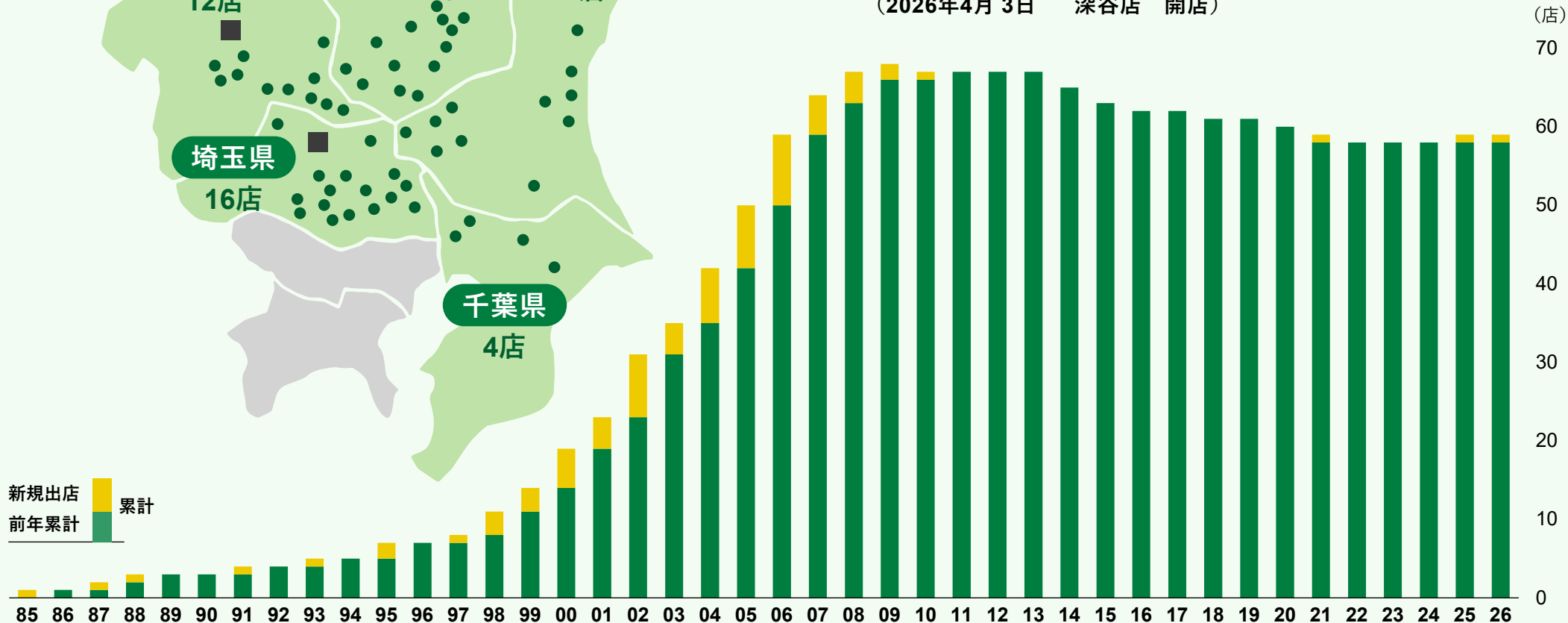
店舗展開の状況

店舗展開の状況 (2026年3月31日現在)



店舗数推移

- 2026年3月末現在 59店舗 (4月3日現在60店舗)
(テイクアウト専門店 フラガ☆デリカ 1店舗含む)
- 2025年5月27日 前橋川原店 開店
- 2026年3月22日 川越埼玉医大前店 閉店
(2026年4月3日 深谷店 開店)



期間限定爆弾ハンバーグ



爆ハン・ガパオ



爆ハン・夏得セット



爆ハン・BREXチーズ



超大型爆弾
ハンバーグセット

2025年

4～6月

7～8月

9～10月

11～12月

1～4月

2026年

季節のデザート企画



メロンスイーツ



秩父源泉水氷の
かき氷



ぶどうデザート



マロンデザート



いちごデザート

店舗の出退店

- 前橋川原店のグランドオープン（5月27日）
前橋市内では3店舗目となります。
- 川越埼玉医大前店の閉店（3月22日）



新たな試み（地域貢献）

- 宇都宮ブレックスとオフィシャルスポンサー契約（7月1日）
 - 男子プロバスケットボールBリーグの宇都宮ブレックスと2025年7月1日より、2025-26シーズンのオフィシャルスポンサー契約を締結
 - 応援企画第1弾として、チームカラーの黄色をモチーフにしたコラボメニュー「爆ハン・BREXチーズ」を実施（9月）

株式分割

- 1株につき2株の割合をもって分割（10月1日）
配当予想の修正（増配）も発表

株式分割前の発行済株式総数	1,449,168 株
株式の分割による増加する株式数	1,449,168 株
株式分割後の発行済株式総数	2,898,336 株
株式分割後の発行可能株式総数(変更なし)	4,000,000 株

新たな試み（コラボ企画）

- VTuberコラボ（7月）
 - 「雨海（あまがい）ルカ」さんとのコラボを実施
 - 爆弾ハンバーグ注文時の「油跳ね防止用マット」をコラボ限定のオリジナルデザインとして提供
- TVアニメコラボ（3月）
 - 新たな客層へのアプローチとして、TVアニメ「DIGIMON BEATBREAK」とのコラボを実施





03.

Earnings forecast

2027年3月期業績予想

(単位：百万円)

	2026年 3月期	2027年3月期			前期比 (%)
		上期予想	下期予想	通期予想	
売上高	9,200	4,750	4,850	9,600	4.3
売上原価	3,186	1,700	1,700	3,400	6.7
売上総利益	6,013	3,050	3,150	6,200	3.1
営業利益	599	250	310	560	△6.6
経常利益	633	260	320	580	△8.4
当期純利益	454	165	185	350	△23.0

通期業績の前提

新規出店計画

2店舗

既存店売上高

103.3%

設備投資計画

705百万円
(修繕・改装を含む)

減価償却費

253百万円

テーマⅠ

コミュニケーションの取れたお店を作り、質の高い人財を育成し、サービスレベルと生産性を高め、人に優しい会社をつくる

テーマⅡ

フライングガーデンらしい「感動価値」を感じられる、肉の専門店モデルを追求する



達成のための4つの柱

01

新幹線型経営の強化

02

営業強化

03

働きやすさ（人にやさしい会社）の追求

04

結果に見合った経費使用の推進（生産性とコスト意識向上）

①新幹線型経営の強化



創業時の理念「**真心のご奉仕**」の考えを受け継ぎ、
「**人を大切にした経営**」を徹底する意識改革

全社員

フライングガーデンらしい価値を表現するために
自ら考え自ら行動する姿勢を持つ

部室長

全体最適を意識し、
自責の人として改善を実行する

感動価値を高めるための教育

- 理念教育の徹底
- 店内コミュニケーションの強化

(月2回、店長と従業員が一緒に食事をしながら会話する機会を設定)



販促キャンペーン

- 50周年記念店舗横断スタンプラリーの開催
- ブレックスコラボ第2弾の実施
- フライイングガーデンイメージアート募集



設備投資による環境向上

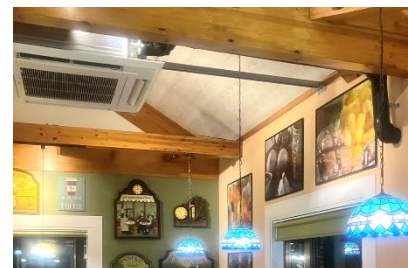
- 新店舗
- **4/3 深谷店開店**
(他1店舗計画中)



- 既存店舗改装
- **5店舗**
(175百万円)



- 客席エアコン入替
- **9店舗**
(49百万円)



③働きやすさ（人にやさしい会社）の追求



待遇の改善

- 初任給の引き上げ（ベースアップと定期昇給の実施）
- 店休日の倍増（年3回から年6回へ）
- 50周年を機に「永年勤続表彰制度」を導入



働く環境の改善

- 快適な空間づくり（エアコンの整備）
 - 厨房・控室（7店舗）
 - パントリー（7店舗）



定着率向上のための取り組み

- 店舗社員へのヒアリングと改善計画の検討
 - 入社3年目までの若手社員の定着につなげる

④結果に見合った経費使用の推進（生産性とコスト意識向上）





04.

Vision

今後の展開

当面の目標として売上高100億円、 売上高経常利益率6%以上を目指す

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 (予想)	目標
売上高	7,785	8,265	9,200	9,600	10,000 以上
経常利益	576	589	633	580	600 以上
売上高対経常利益率 (%)	7.4%	7.1%	6.9%	6.0%	6% 以上
当期純利益	396	352	454	350	

着実に安定的な成長を目指して

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株を2株に分割いたしました。2026年3月期の配当は記念配当を含め1株につき18円に増配いたします。これは分割前換算で36円となり、実質6円の増配となります。なお、株主優待の実施基準に実質的な変更はありません。

() 内…株式分割後換算

(単位：円)

	第2四半期	期末	年間	配当利回り (5/28現在)
2023年3月期	—	25 (12.5)	25 (12.5)	
2024年3月期	—	30 (15)	30 (15)	
2025年3月期	—	30 (15)	30 (15)	
2026年3月期	—	18 ※うち記念配当1円	18 ※うち記念配当1円	
2027年3月期 (予想)	—	17	17	株価 1,395円 利回り 1.2%

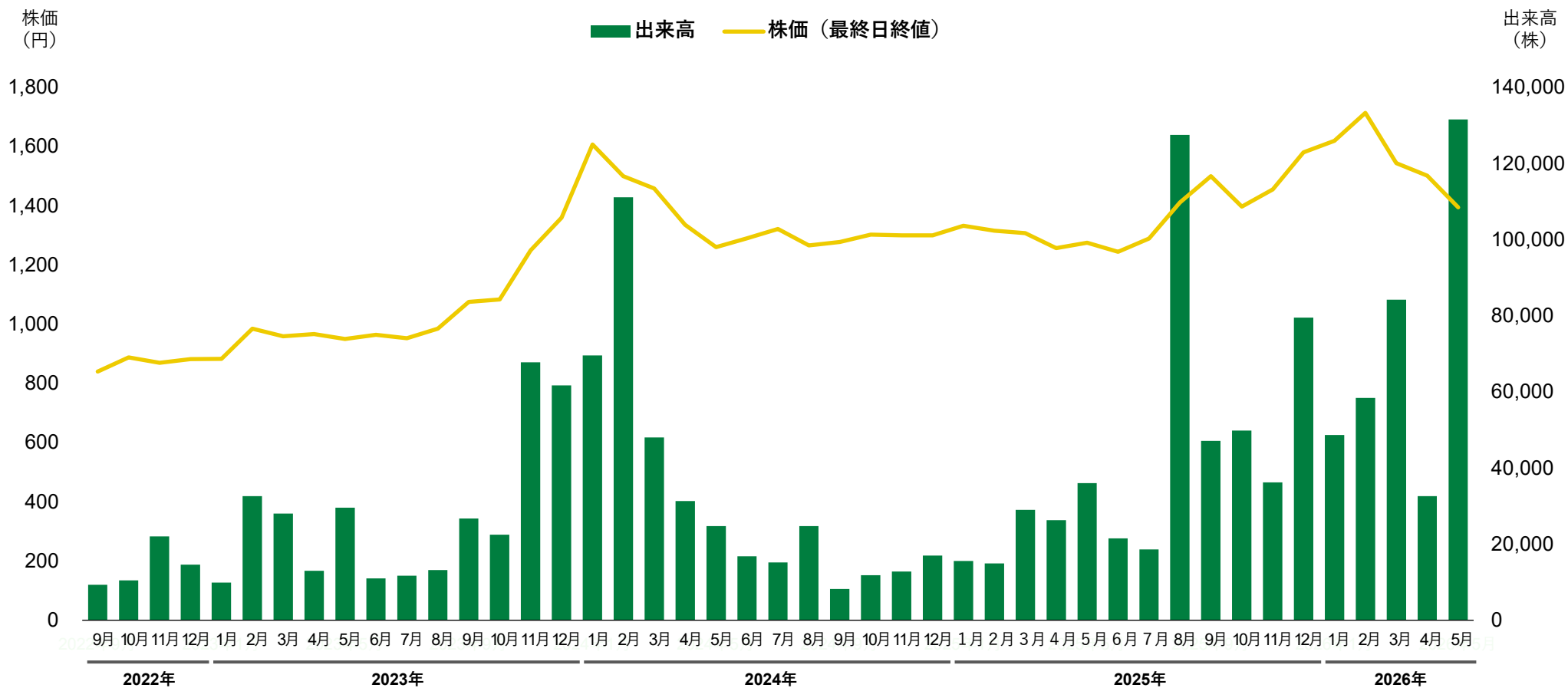
保有株式数	優待内容
200株 ～ 999株	当社株主ご優待券500円 4枚 (2,000円) または当社商品
1,000株 ～ 1,999株	当社株主ご優待券500円 12枚 (6,000円) または当社商品
2,000株以上	当社株主ご優待券500円 24枚 (12,000円) または当社商品

2026年11月29日に創業50周年を迎えるにあたり、
2026年3月期期末配当で創業50周年記念配当を1株当たり1円実施いたします。



05. Appendix

株価と出来高の推移（2022年9月以降） 5月28日現在



※ 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。株価の推移については株式分割を考慮して調整しております。

＼ ご清聴ありがとうございました ／



IR担当窓口

株式会社フライングガーデン

部署	財務部
役職	財務部長
氏名	高木 幸広
TEL	0285-30-4129
FAX	0285-22-2133
HP	https://www.fgarden.co.jp/

- 本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。